

平成30年度 教育指導の重点

岐阜県立飛騨高山高等学校
(通信制の課程)

1 教育の方針

「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。

2 教育目標

社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材育成を目指し、社会人としての一般教養を身につけさせるとともに、創造性にあふれ、明朗快活で心豊かな人間性を養う。

3 指導の重点

(1) 学習指導

- ◇「気長・丁寧・親切」を指導のモットーに、基礎基本を大切にして、社会人として必要な一般教養を身に付けさせる。
- ◇個に応じた支援の充実を図り、自己肯定感を高めさせることによって自ら学ぶ意欲や態度を育てる。
 - ・報告課題（レポート）内容の見直しを行い、取り組みやすい内容に改善するとともに、評価基準を明確にし、丁寧な添削指導に努める。
 - ・個別面接指導（スクーリング）や夜間学習会を活用し、学習に困難を抱える生徒に対してコミュニケーションを大切にし、粘り強く指導・支援する。
 - ・わかりやすい言葉での指導や板書の工夫によって生徒が主体となって活動できるように、面接指導（スクーリング）の改善に努める。

(2) 生徒指導

- ◇安全・安心な環境づくりを進め、個に寄り添い、自己肯定感を高めるように努める。
- ◇自他の人格と生命を尊重し、健全な人間関係を築かせるとともに、社会性の育成に努める。
 - ・三者懇談・二者懇談を随時実施し、保護者とも連携して、特別支援教育コーディネーターを中心に生活及び学習の支援に努める。必要に応じて、スクールカウンセラー等の専門家と連携する。
 - ・学校行事・部活動・生徒会活動の活性化を図り、生徒が主体的に活動できるように努める。
 - ・良好な対人関係の構築や社会性を育むために、あらゆる場面を通して、コミュニケーション能力の育成を図る。

(3) 進路指導

- ◇望ましい勤労観・職業観を身につけさせて、社会的自立を目指す。
- ◇主体的に進路設計ができるように年次ごとの目標を踏まえて指導し、卒業後の進路実現を目指す。
 - ・外部講師による進路講話を実施して、生徒及び保護者の進路意識を高める。
 - ・面接指導（スクーリング）及び個別面談等を通して、自己の能力・適性や可能性に気付かせるとともに、適時に進路情報を提供する。
 - ・随時、進路相談を行って就労の実態や進路希望を把握し、学力補充・面接指導など、卒業後の進路を見据えた指導を個に応じて実施する。